



地域包括支援センター

せいふ耳寄り情報 Vol.84

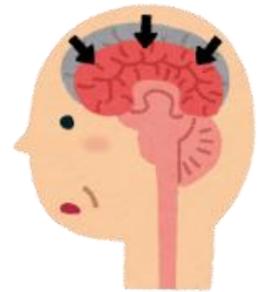
■ 認知症の方へのかかわり方

認知症とは

認知症は脳の病気など様々な原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態をいいます。

主に、**アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、血管性認知症等**があります。

早めに症状に合った治療をはじめれば、進行をゆるやかにすることができ、認知症になっても穏やかに暮らしていくことができます。



治療について

○ 認知症とよく似た状態の

「うつ状態」「甲状腺機能低下症」「正常圧水頭症」「慢性硬膜下血腫」などのように早期に治療することで治せるものがあります。

認知症とよく似た状態を示す病気を見逃さないことが大切です。

○ アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症の場合は、

薬で進行を遅らせることができ、早く使い始めると健康な時間を長くすることができます。

○ 血管性認知症の場合は、高血圧のコントロールなど

他の病気の治療を行うことによって進行を防ぐことができます。



早期診断、早期治療が重要です

まずは主治医の先生に相談してみましよう

認知症の方の気持ちと、支援のポイント

認知症の方は、日常生活が徐々にうまくいけなくなり、自分でも変化に気づいています。物忘れを認めたくなくて「忘れていない」といってしまう人もいますが、**隠された複雑な思いをくんでください。**

できないことをとがめたり、怒ったりすると、自尊心が傷つき、症状が進むなど悪循環になってしまいます。

周りの人が認知症を理解し、**できにくくなったことを助けることで症状の改善や、本人も穏やかに過ごせます。**



認知症の方への関わり方

● 対応の心得“3つの「ない」”

①おどろかせない ②急がせない ③自尊心を傷つけない

認知症の方への対応には認知症に伴う認知機能低下があることを周りの方が正しく理解することが大切です。

そして、**偏見をもたずに、「認知症の方に寄り添う」という姿勢が**関わり方のポイントになります。



● 具体的な対応の7つのポイント

- ・まずは見守る
- ・余裕をもって対応する
- ・声をかけるときは1人で
- ・後ろから声をかけない
- ・相手と目線を合わせてやさしい口調で
- ・おだやかに、はっきりした話し方で
- ・相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する



認知症の方も安心して暮らし続けることができるまちづくりに一緒に取り組んでいきましょう。

認知症について、不安や心配なことがあればひとりで悩まず、まずは**地域包括支援センター**に相談してください。

※大阪市ホームページ引用